

**群馬県**

**「欠席連絡（感染症情報）の  
データ連携事業・事業運営業務」**

## **第2回事業運営検討会**

令和7年10月15日

## 事業運営検討会 メンバー

- 公益財団法人日本学校保健会
- 学校等欠席者・感染症情報システム運営事業者（株式会社エスイーシー/有限会社おうみコンピューターシステム）
- 一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）
- 一般社団法人こどもDX推進協会
- 内閣官房デジタル行政改革会議事務局
- 文部科学省健康教育・食育課
- こども家庭庁保育政策課
- 厚生労働省感染症対策課
- 群馬県
  - ・ 教育委員会総務課
  - ・ 教育委員会健康体育課(学校保健担当)
  - ・ こども・子育て支援課(保育施設担当)
  - ・ 感染症・疾病対策課(保育所担当)
  - ・ 戰略企画課(新地創交付金担当)
- 委託事業者
  - ・ 校務支援システム・汎用クラウドサービス導入事業者（Ddrive株式会社、株式会社滋野堤水堂）
  - ・ 保育ICTシステム事業者（株式会社コドモン）
  - ・ 交付金事務局事業者（PwCコンサルティング合同会社）

## アジェンダ

---

- 1. 交付金事業の概要（再掲）**
  - 2. 保育実証の進捗状況**
  - 3. 校務実証の進捗状況**
  - 4. 今後のスケジュール**
  - 5. 事務連絡**
-

# 交付金事業の概要(再掲)

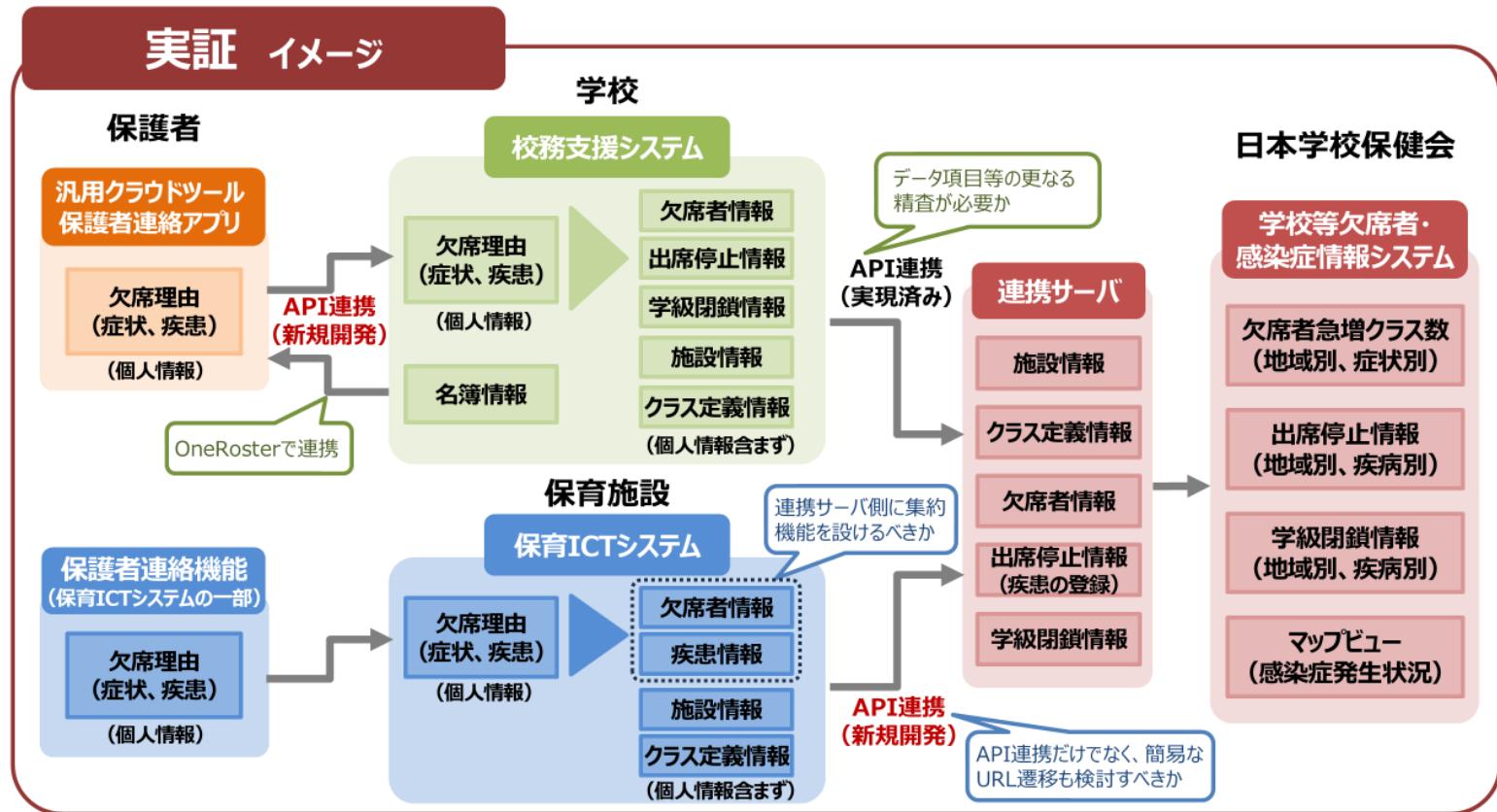
# 交付金事業の概要

## TYPESにおける実証イメージ

デジタル行政改革会議

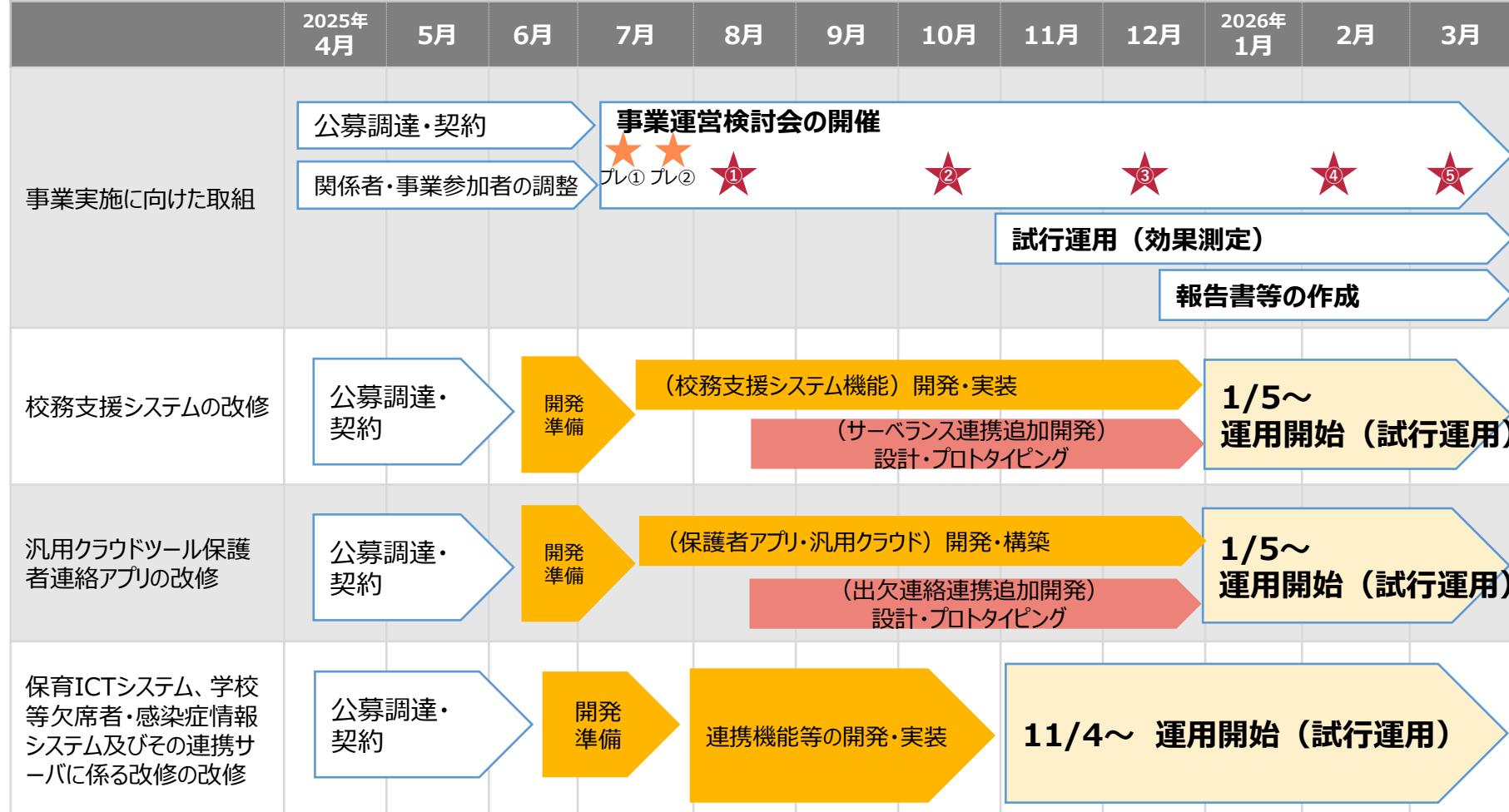
【学校】 「汎用クラウドツール」又は「保護者連絡アプリ」から「校務支援システム」へのデータ連携を可能とする。  
 (「校務支援システム」から「連携サーバ」へのAPI連携は実現済み。)

【保育施設】「保育ICTシステム」から「連携サーバ」へのデータ連携を可能とする。  
 (「保護者連絡機能」は「保育ICTシステム」の機能の一部として実装済み。)



## 交付金事業の概要（全体スケジュール）

- ✓ 実証内容や仕様の検討内容について、事業運営検討会で合意形成を図りながら進める方針で、**保育部分は11月から、校務部分は来年1月からの実証開始を予定**しており、現在仕様検討・開発等を実施しています。



# 保育実証の進捗状況

## 保育実証の進捗状況（実証の全体概要①）

✓ 11月からの実証開始に向けた、全体概要については以下のとおりです。

期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月4日から1月末日頃（調整中；実証期間終了後も年度末までは自動連携機能を維持する想定）</li> </ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育ICTシステムを既に導入している<u>高崎市内の保育施設3園</u></li> </ul>
実証の内容・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育ICTシステムCoDMONにより、保護者からの欠席連絡における<u>欠席理由、症状・疾患等の欠席情報を感染症システムの連携サーバに自動連携し、保育施設職員の業務負担軽減効果等について検証</u>する</li> <li>データ連携機能等の構築により、連携の<u>仕様案・データ標準案策定</u>のためのインプットを得る</li> </ul>
効果検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育施設職員の<u>業務負担軽減等における満足度を把握（定性）</u>（アンケート・ヒアリング等を想定）</li> <li>保護者（調整中）、群馬県下の保健所及び群馬県保育担当部局職員へもヒアリング等を想定</li> <li>感染症システムとの自動連携により削減された<u>業務時間の把握（定量）</u>（アンケート・ヒアリング等を想定）</li> </ul>

＜参考＞保育施設の1日(例) ※感染症システムへは業務の合間に手入力

時間	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:30	
園児の 過ごし方	登園時間		遊び時間		昼食		昼寝		おやつ	遊び時間	順次降園
実証に関連 する業務	<b>欠席連絡の受付・確認</b> 			 <b>感染症システムへの入力（業務の合間に定點的に実施）</b>							

- ✓ 実証の開始に向けて、必要な機能の開発を行うほか、対象施設へのヒアリングを実施しました。今後は、残りの開発項目の対応に加え、感染症システムとの連携サーバとの接続テスト等を実施予定です。

## 実施事項と今後の予定

### これまでの実施内容

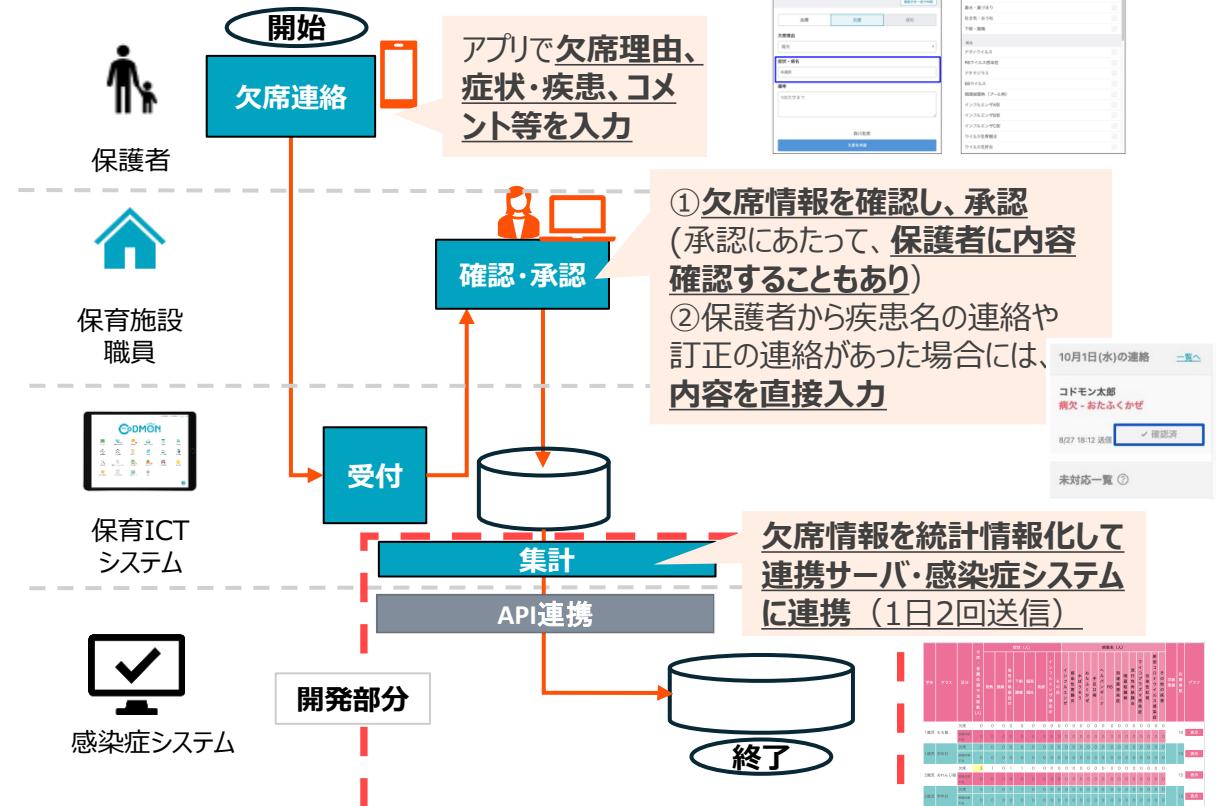
- ・データ連携仕様の検討
- ・インターフェースの設計、開発
- ・連携にあたってSEC社との詳細調整
- ・実証対象となる保育施設3園に対し、実証内容の事前説明、クラス定義情報等、データ連携について必要な情報についてのヒアリングを実施 など

### 今後の検討内容（予定）

- ・インターフェース開発の継続
- ・連携テストの実施
- ・実証開始後、保育施設への必要なサポートの実施

など

## 欠席情報の感染症システムへの連携の流れ



## 保育実証の進捗状況（保育ICTシステムの画面イメージ）

- ✓保護者がアプリ上で欠席理由、症状・疾患等の欠席情報を入力し申請後、保育施設職員が管理者画面を確認し、欠席情報を承認すると、欠席情報が確定され、保育ICTシステム内で感染症システムへ送信するためのデータ集計が行われます。

### 保護者アプリの欠席連絡画面（保護者の入力画面）

This screenshot shows the 'Absence Application' screen of the Parent App. It includes fields for selecting the date (9月1日(月)), choosing absence status (出席, 欠席, 遅刻), and entering absence reasons. A dropdown menu for 'Symptom / Disease' is open, with '未選択' (Not Selected) highlighted. A blue box highlights the 'Symptom / Disease' dropdown and the 'Absence Application' button at the bottom.

This screenshot shows a list of symptoms and diseases for selection. Symptoms listed include fever, sore throat, runny nose, and abdominal pain. Diseases listed include Adenovirus, RS virus infection, and various types of influenza. A blue box highlights the 'Symptom / Disease' list.

### 管理者画面

This screenshot shows the Manager Dashboard for September 1st. It displays a table of children's attendance status, with '欠席' (Absent) highlighted for one child. Below the table is a summary row for the child '森川拓実' (Moriyama Takumi) with details: absence period (今日まで), category (病欠), and symptoms (発熱, せき・のどの痛み, 鼻水・鼻づまり).

This screenshot shows a summary of unresponded absences for October 1st. It lists three children: コドモン太郎 (Kodomon Taro), 河野花子 (Kono Hako), and 山田太郎 (Yamada Taiga). The status for each is '病欠 - おたふくかぜ' (Sick Leave - Flu). A blue box highlights the '確認済' (Confirmed) button for the first child.

**保護者が**アプリ上で欠席情報を入力

**保育施設職員が**欠席情報を確認し承認

## 保育実証の進捗状況（連携するデータ項目、学校等欠席者・感染症情報システムの画面のイメージ）

- ✓ 保育施設職員が承認した欠席情報のデータを保育ICTシステム内で集計し、感染症システムへ連携することにより、これまで手動入力していた感染症システムの日々の状況入力画面に自動で反映されます。

## CoDMONから連携する症状・疾患のデータ項目(主なもの※)

項目名（感染症システムの表記）
発熱
下痢、腹痛
吐気、嘔吐
咽頭結膜熱、流行性角結膜炎以外のアデノウイルス感染症
インフルエンザA型
インフルエンザB型
インフルエンザ
感染性胃腸炎
水痘(みずぼうそう)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
手足口病
ヘルパンギーナ
RS
溶連菌感染症
咽頭結膜熱
流行性角結膜炎
マイコプラズマ感染症
伝染性紅斑(りんご病)
新型コロナウイルス感染症

# 保育施設職員により承認されたデータを 保育ICTシステムが集計し、送信

## 感染症システムの「日々の状況」入力画面

欠席情報の各項目が保育ICTシステム  
から自動連携（これまで手入力により転記）

※感染症システムにある症状・疾患のうち、CoDMONにて有しているデータ項目

## 保育実証の進捗状況（実証フィールドとなる施設について）

- ✓ 実証開始に向けて、認定こども園 3 施設を対象に園長及び看護師に対して事前説明及びヒアリングを実施しました。
- ✓ 3施設ともCoDMONにより欠席連絡を行っており、感染症システムへの入力は担任及び養護教諭（看護師）が担当しています。

施設名	上滝こども園	石原かがやきこども園	桃ヶ丘保育園
所在地	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高崎市上滝町619-2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高崎市石原町3960</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高崎市剣崎町409-3</li> </ul>
定員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1号:15人</li> <li>• 2号:48人</li> <li>• 3号:0歳：12人 1歳：15人 2歳：15人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1号:15人</li> <li>• 2号:60人</li> <li>• 3号:0歳：10人 1歳：20人 2歳：20人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1号：15人</li> <li>• 2・3号（合計）:75人</li> </ul>
職員数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 25名超（看護師、栄養士等含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 40名超（看護師、栄養士等含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 40名超（看護師、栄養士等含む）</li> </ul>
欠席連絡の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育ICTシステム(及び電話)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育ICTシステム(及び電話)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育ICTシステム(及び電話)</li> </ul>
使用している保育ICTシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CoDMON</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CoDMON</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CoDMON</li> </ul>
感染症システムへの入力者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各担任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 養護教諭（看護師）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 養護教諭（看護師）</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>園長自身がシステムに関する知見があり、システム導入を推進</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>保健センターで臨時職員経験の養護教諭が在籍</b>しており、感染症対策の取組を熱心に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>園長自身がシステムに関して知見があり、システム導入を推進</b>（コドモン様の業務連絡ツール「せんせいトーク」も使用）</li> </ul>

※こども認定保育園の利用者区分については、「子ども・子育て支援法」に規程  
 1号：満3歳以上の「教育」を主に希望する児童  
 2号：満3歳以上で、保護者の就労などにより「保育」を必要とする児童  
 3号：満3歳未満で、保護者の就労などにより「保育」を必要とする児童

## 保育実証の進捗状況（実証の効果検証について）

- ✓ 感染症システム自体への入力削減時間や、入力のために要していた確認時間等を把握するほか、データの自動連携により削減された時間で、新たに実施できた業務などをアンケート及びヒアリングにて把握することを想定しています。

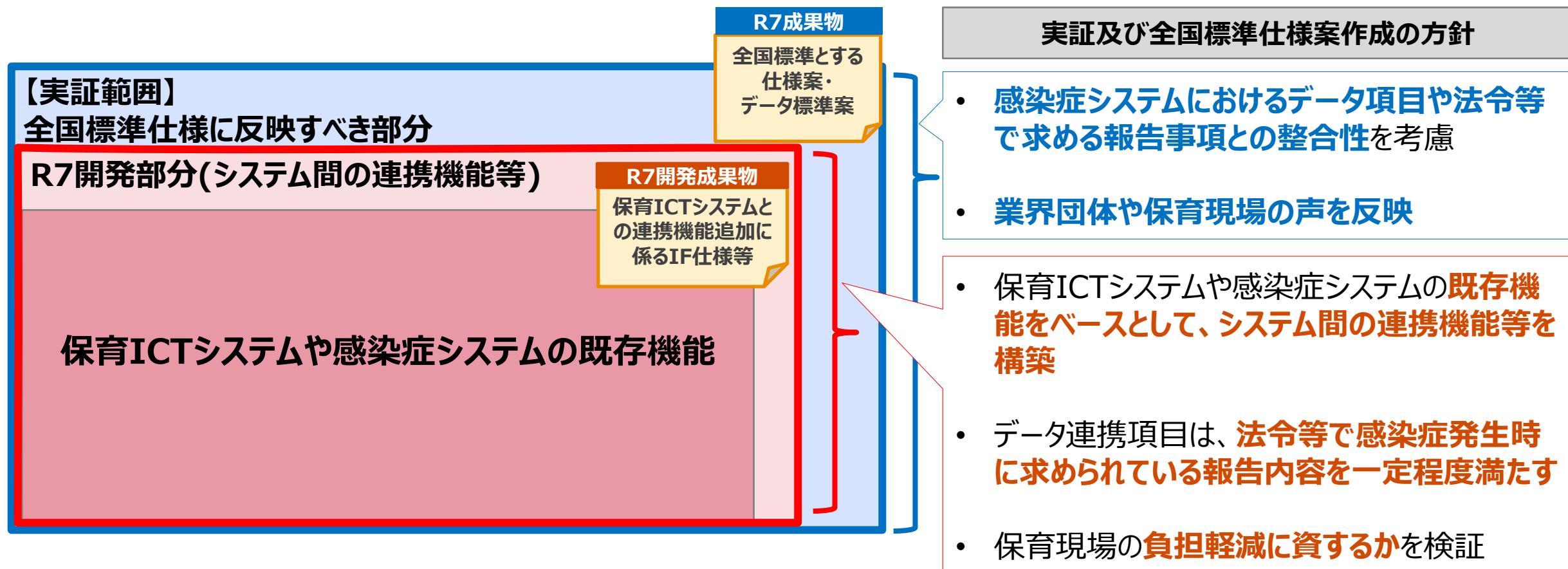
対象者	実証対象3施設のクラス担任（感染症システムへの入力実施者）、養護教諭、園長
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート及びヒアリング</li> <li>・保育ICTシステムから欠席情報のデータを抽出し分析を実施</li> </ul>
期待される効果	<p>感染症システム自体への<u>入力時間削減</u>、<u>入力に必要な確認作業等の時間削減</u>（結果Output）</p> <p>削減時間を保育業務に充てるによる、<u>保育業務そのものの更なる充実</u>（成果Outcome）</p>

### アンケート項目（案）

区分	質問事項	回答方法
属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施設の名称をご教示ください</li> <li>・保育施設における役割をご教示ください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述</li> <li>・選択肢から選択（担任、養護教諭、園長、その他）</li> </ul>
定量 (所要時間等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証期間の欠席情報のデータ数（欠席情報のデータの総数や、日別のデータ数）</li> <li>・実証開始前には、感染症システムへ入力するために、欠席理由等の確認等にどの程度時間を要していましたか</li> <li>・実証期間中、感染症システムへ入力するために、欠席理由等の確認等にどの程度時間を要しましたか</li> <li>・実証開始前には、感染症システムへの入力はどの程度時間を要していましたか</li> <li>・実証期間中、感染症システムへの入力時間は、どの程度削減されましたか</li> <li>・感染症システムへのデータの自動連携により、総合的な満足度合いはどれくらいですか</li> <li>・感染症システムへの手入力の負担軽減を実感できましたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席情報のデータの詳細をコドモン様から受領し把握する想定</li> <li>・自由記述 (例：管理者画面の確認時間、保護者への確認時間等)</li> <li>・自由記述（時間を記入）</li> <li>・自由記述（時間を記入）</li> <li>・自由記述（時間を記入）</li> <li>・選択肢から選択（満足/やや満足/普通/やや不満/不満）</li> <li>・選択肢から選択 (できた/ややできた/あまりできなかった/できなかった)</li> </ul>
定性 (満足度等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本実証において評価できる点」「本実証において課題と感じた点」は何ですか</li> <li>・感染症システムへ入力していた時間が無くなったことにより、どんな業務に時間を割くことができましたか</li> <li>・本実証終了後も継続して、感染症システムへデータを自動連携してほしいと感じますか</li> <li>・他園にもすすめたいと感じますか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述</li> <li>・自由記述（例：連絡帳の記入が×件分できた）</li> <li>・はい/いいえ</li> <li>・はい/いいえ</li> </ul>

## 【再掲】保育実証の進捗状況（実証での開発部分と全国標準とする仕様案・データ標準案の考え方）

- ✓ 全国標準とする仕様案・データ標準案は、感染症対策や各種法令、業界団体及び保育現場の声を反映します。
- ✓ R7実証においては、全国標準仕様のすべてを満たせないものの、保育現場の負担軽減効果や感染症対策に資する効果が得られるよう、実証を行う方針です。



## 保育実証の進捗状況（R7開発部分と全国標準仕様案の範囲）

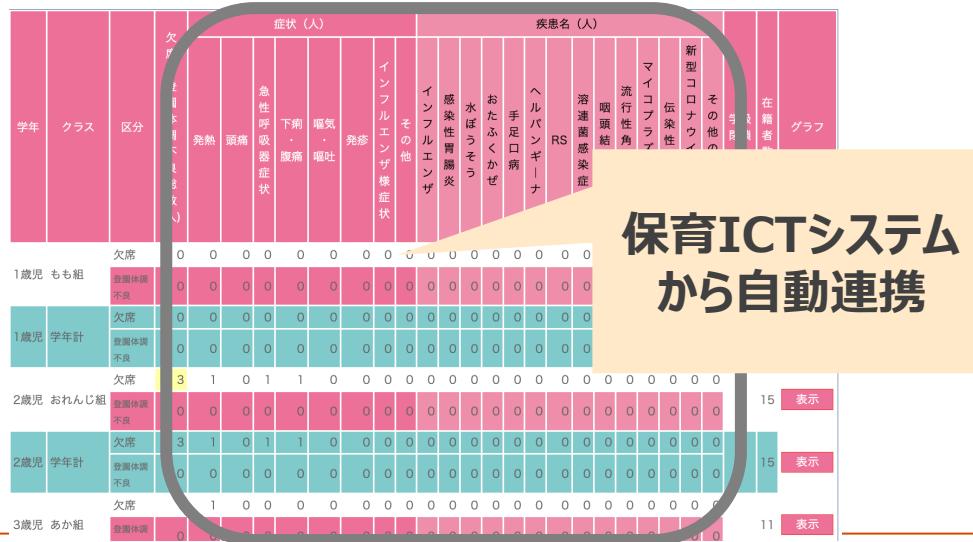
✓保育施設における感染症システムへの登録は2画面あり、本実証での開発では「日々の状況入力」画面へ日別・クラス別に人数が自動連携されます。他方で、全国標準仕様案には「疾患の登録」画面への自動連携も含め具体的な方法を記載する想定です。

### 全国標準仕様案に反映すべき部分

#### R7開発部分（システム間の連携機能等）

##### （1）日々の状況入力（欠席データの登録）（日々登録）

入力タイミング	毎日
入力内容	症状データ8項目（発熱、頭痛、下痢・腹痛等） 疾患データ14項目（インフルエンザ等）
入力方法	日別×クラス別に1行ずつ、症状、疾患ともに人数を入力 人数が0人であっても0人（ブランク）のままで登録



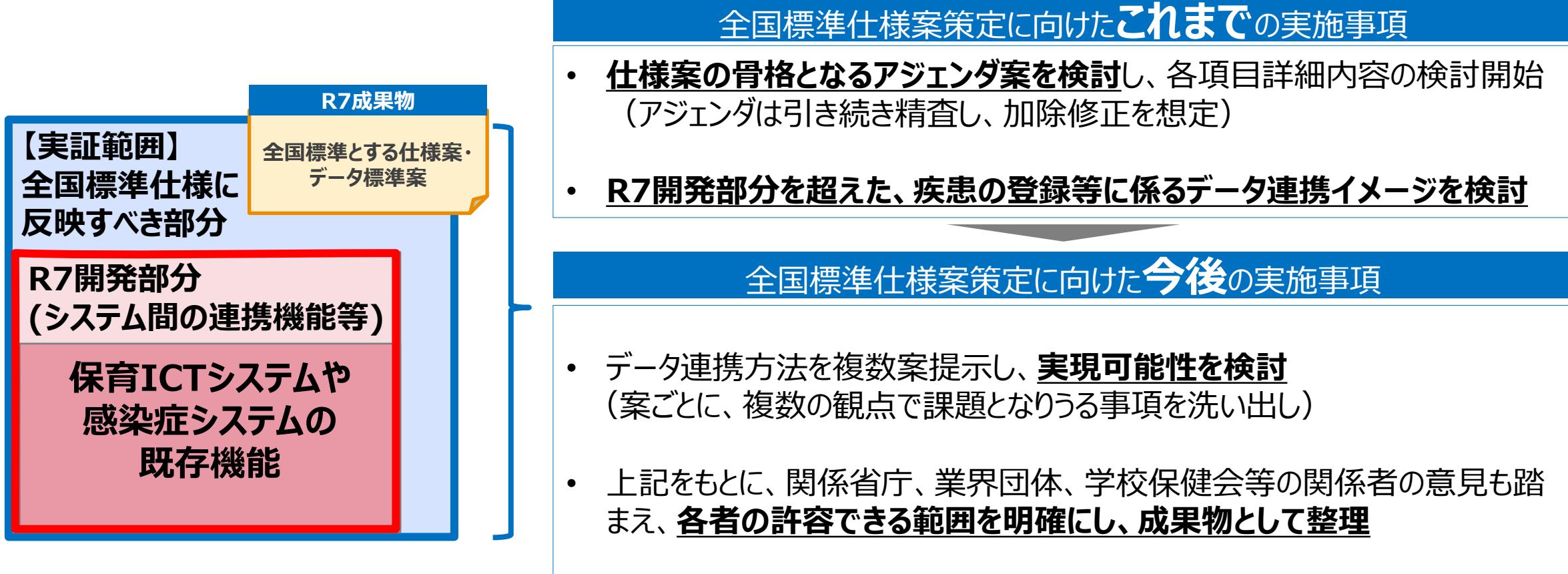
##### （2）疾患の登録（随時登録）

入力タイミング	事象発生時（出席停止に該当するような感染症発生時）に疾患データを随時入力
入力内容	疾患データ39項目 ※「学校医意見」「今後の措置」等自由記述除く
入力方法	日別×疾患別に1画面に対して、疾患データの出席停止を提示した日及び終了予定日、クラス別人数等を入力

欠席・登園（診断されているが登園している場合）の別	
理由:	インフルエンザ インフルエンザA型 インフルエンザB型 インフルエンザ(H1N1)2009 インフルエンザ(H1N9) 水痘(みずぼうそう) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 百日咳 麻疹 風疹 結核 腸管出血性大腸菌感染症 赤痢 氏名 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 ウイルス性肝炎 無菌性脳膜炎 髄膜炎性脳膜炎
期間:	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
疾患により登録した理由および期間	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
欠席データの自動計上	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
疾患による欠席・登園（診断されているが登園している場合）の予定終了年月日	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
疾患により登録した園児の年齢別人数	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
園医の意見（自由記入）	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
今後の措置（自由記入）	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月
その他（自由記入）	2025年未定 2025年1月 2025年2月 2025年3月 2025年4月 2025年5月 2025年6月 2025年7月 2025年8月 2025年9月 2025年10月 2025年11月 2025年12月

## 保育実証の進捗状況（全国標準仕様案検討経過）

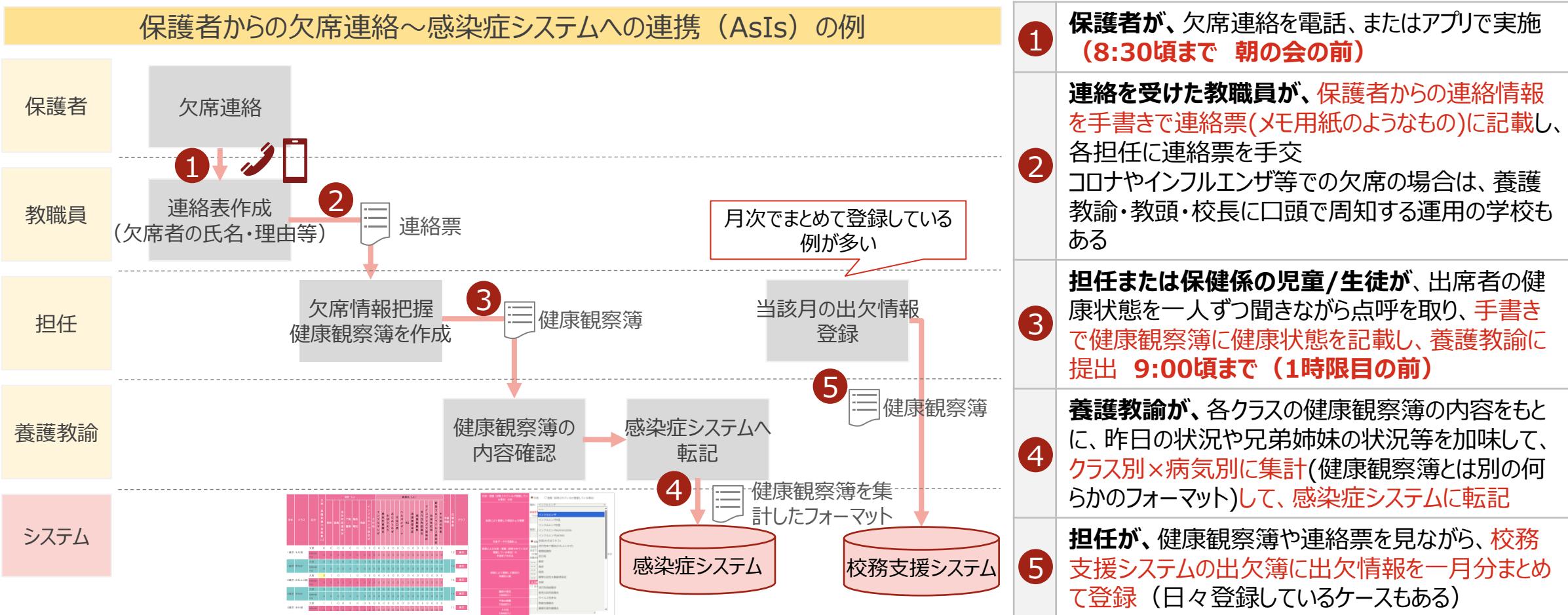
- ✓ 全国標準仕様案策定に向けて、R7開発部分を超えた、感染症システムとの具体的連携イメージを検討しています。
- ✓ 今後、データ連携方法を複数案提示させていただき、保育ICTシステムだけではなく、感染症システム側においてできることも洗い出し、関係者のご意見を踏まえて実現可能性を検証し、全国標準仕様案に反映することを想定しています。



# **校務実証の進捗状況**

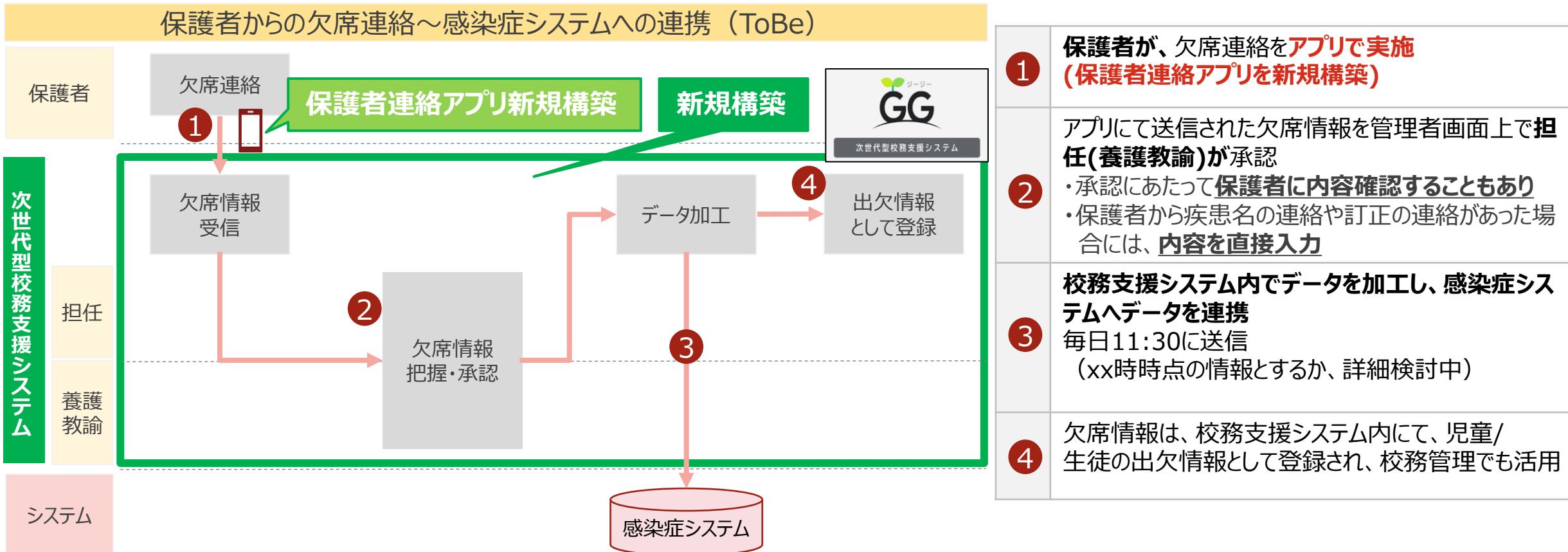
## 校務実証の進捗状況（欠席連絡から学校等欠席者・感染症情報システムへの入力 AsIs）

- ✓ 保護者から電話(またはアプリ)にて連絡があった欠席情報は、電話応対した教職員から担任へ連携され、各クラスの健康観察簿に反映されます。その後、養護教諭にて健康観察簿の内容をもとに感染症システムへ転記する例が多く見られます。



## 校務実証の進捗状況（欠席連絡から学校等欠席者・感染症情報システムへの入力 ToBe）

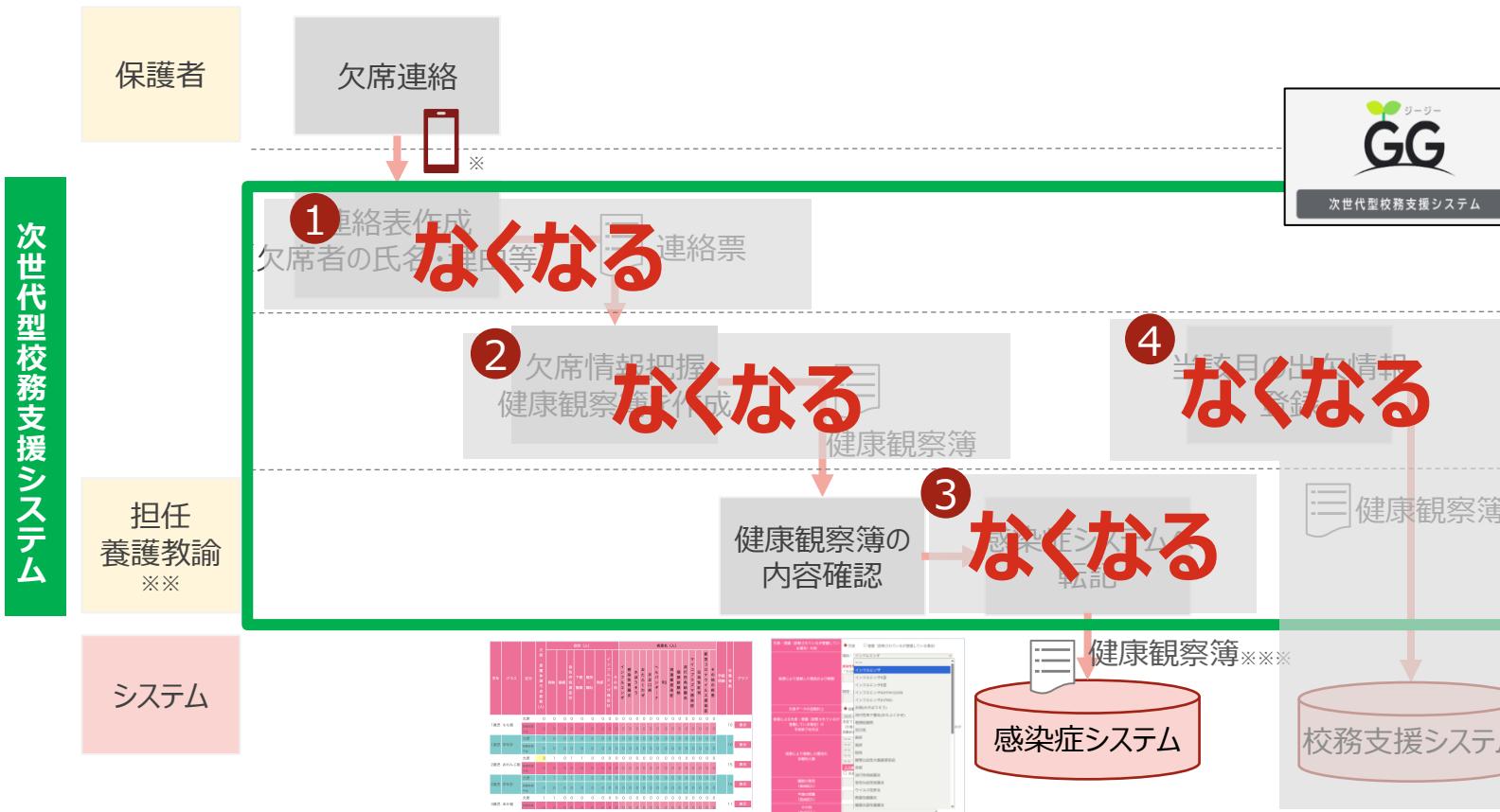
- ✓ 保護者がアプリ上で入力した**欠席情報が、学校側で教職員が校務支援システム上で承認することにより、感染症システムへ自動連携**されます。また、出欠情報は校務管理に活用され、これまで月末にまとめて手入力で行っていた、児童/生徒の出欠情報登録が日々自動連携され、不要となります。



## 校務実証の進捗状況（欠席連絡から学校等欠席者・感染症情報システムへの入力 業務削減部分）

- ✓ 保護者がアプリ上で入力した**欠席情報が、学校側で教職員が校務支援システム上で承認することにより、感染症システムへ自動連携**されます。また、出欠情報は校務管理に活用され、これまで月末にまとめて手入力で行っていた、児童/生徒の出欠情報登録が日々自動連携され、不要となります。

### 保護者からの欠席連絡～感染症システムへの連携



これまでマニュアルで行っていた作業が  
自動処理・連携により削減

- ① 教職員総出で行う保護者からの**欠席連絡**の電話対応が、アプリから**自動連携**
- ② 担任が行う**保護者からの連絡とりまとめ作業**が**自動処理**
- ③ 感染症システムへの**健康観察簿の転記作業**が**自動連携**
- ④ 月末にまとめて入力していた**児童/生徒の出欠状況の登録作業**が日々**自動連携**

※保護者からの欠席連絡は基本的にアプリで行われることを想定していることから、p22の図から変更しています

※※健康観察簿の内容確認を担任・養護教諭が行うことを想定していることから、p22の表記から変更しています

※※※校務支援システム上で集計することで別のフォーマットがなくなることを想定していることから、P22の表記から変更しています 19

## 校務実証の進捗状況（保護者連絡アプリ）

- ✓ 保護者連絡アプリにおいて欠席連絡を行う画面イメージを作成し、感染症システムにて有している症状・疾患項目をデータ連携できるよう、機能開発中です。今後、保護者向けアカウント発行や説明会の開催等、試行運用に向け準備中です。

### 保護者連絡アプリの開発

これまでの検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者連絡アプリの欠席連絡画面イメージの検討</li> <li>画面の詳細設計、構築等を実施</li> <li>県内市町村教育員会に向けて、導入スケジュール等の通知、各種説明会の実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アカウント作成等（gmailアカウント）、<b>試行運用に向けた準備</b>を実施</li> <li>試行運用開始に向けた<b>保護者等への説明会</b>の実施</li> <li><b>保護者入力画面のUIを検討</b>（感染症システムにおける疾患等の種類が多いため、選択肢とする項目や自由記述項目の整理等を実施）</li> </ul>
今後の検討内容（予定）	

### 保護者連絡アプリの欠席連絡画面のイメージ

- 感染症システムにおける症状・疾患項目をカバーするよう設計
- 保護者の使いやすさの観点で、選択肢の内容を検討

## 校務実証の進捗状況（各種仕様案・データ標準案策定に向けた検討経過）

- ✓ 各種仕様案・データ標準案策定に向けて、APPLIC様及び校務支援システムベンダー様と意見交換を実施し、課題感等を把握しました。
- ✓ 1 基礎自治体単独で感染症システムとの連携機能を実装する場合、コストが割高になるなど運用面での課題や、校務支援システムにないデータがあるため、一部手入力にならざる得ないなどの課題が分かりました。
- ✓ 保護者連絡アプリと校務支援システム間の連携について、現状個別に仕様を検討しており、標準となる仕様の策定に期待の声がありました。

### ヒアリング 結果

校務支援システム～  
感染症システムの連  
携サーバ間の連携

- 校務支援システムで以下データは有していないため、手入力にならざるを得ない  
 <ヒアリングした校務支援システムベンダー様のシステムにないデータ>
  - ✓ 職員の罹患情報、閉鎖情報のうち備考欄
  - ✓ 出席停止の期間（出席簿で、未来日まで登録はしないため）
  - ✓ 疾病期間
- 感染症システムとの連携について、1 基礎自治体単位での導入の場合はコスト高となる  
結局、感染症システムへ手入力が必要ではないかと考えている

保護者連絡アプリ～  
校務支援システム間  
の連携

- 保護者連絡アプリ毎に個別に機能開発し、校務支援システムと連携している（連携仕様は個別となっている）
- 標準となる連携仕様があると楽になるのではないか

## 校務実証の進捗状況（各種仕様案・データ標準案策定に向けた検討経過）

- ✓ 現在、APPLIC様の会員ベンダー様向けに調査を実施中で、どんな製品があるか、どんな項目を入力しているか、また、システムの可変性などについて実態把握のうえ仕様案・データ標準案に含めるべき内容を検討する方針です。

対象者

APPLIC様の会員企業で、保護者連絡アプリ及び校務支援システムを提供するベンダー様（社数調整中）

方法

アンケート及び個別ヒアリングを予定

目的

各ベンダー様の製品におけるデータ項目等を把握することで、仕様案・データ標準案に含めるべき内容の検討のためのインプットとすること

アンケート項目案（校務支援システムを提供するベンダー様向け）※	
製品概要	<p>貴社の校務支援システムの製品名をご教示ください。</p> <p>貴社の校務支援システムの製品の詳細がわかるURLをご教示ください。</p> <p>貴社の校務支援システムは、クラウド版ですか、それともオンプレ版とクラウド版の両方ですか。</p> <p>貴社の校務支援システムは、保護者連絡アプリからの欠席情報を受け取るインターフェースを有していますか。</p> <p>保護者連絡アプリから欠席情報を受領する場合、保護者は出欠、欠席理由をリストや選択肢として用意された項目から選択し、その情報を受領する形式でしょうか。※「病気欠席」「事故欠席」等リストや選択肢として用意された項目を受領する形式となっている場合、項目をご提示ください。</p> <p>保護者連絡アプリから「病気欠席」で欠席情報を受領する場合、保護者は症状をリストや選択肢として用意された項目から選択し、受領する形式でしょうか。※「発熱」「嘔吐」等リストや選択肢として用意された項目を受領する形式の場合、下記（感染症システムの症状項目）のうち、受領可能な項目をご提示ください。</p> <p>保護者連絡アプリから「病気欠席」で欠席情報を受領する場合、保護者は疾患をリストや選択肢として用意された項目から選択し、受領する形式でしょうか。※「インフルエンザ」「麻疹」等リストや選択肢として用意された項目を受領する形式の場合、下記（感染症システムの疾患項目）のうち、受領可能な項目をご提示ください。</p> <p>保護者から連絡された出欠、欠席理由等の欠席情報を、学校の担当者が任意で変更できますか。</p> <p>※「出席」⇒「病気欠席」など、保護者から連絡された後に、修正を行うケースを想定</p> <p>リストから選択できる項目（症状や疾患）について、新たに項目を追加する場合、大幅な改修が必要でしょうか。</p> <p>日本学校保健会の感染症システムとの連携インターフェースは実装されていますでしょうか。</p> <p>連携インターフェースが実装されていない理由は何ですか。</p> <p>今後連携インターフェースを実装する予定はありますか。</p> <p>貴社の製品を導入している学校の総数はどのくらいでしょうか。</p>
仕様	<p>リストや選択肢として用意された項目を受領する形式の場合、下記（感染症システムの症状項目）のうち、受領可能な項目をご提示ください。</p> <p>保護者連絡アプリから「病気欠席」で欠席情報を受領する場合、保護者は疾患をリストや選択肢として用意された項目から選択し、受領する形式でしょうか。※「インフルエンザ」「麻疹」等リストや選択肢として用意された項目を受領する形式の場合、下記（感染症システムの疾患項目）のうち、受領可能な項目をご提示ください。</p> <p>保護者から連絡された出欠、欠席理由等の欠席情報を、学校の担当者が任意で変更できますか。</p> <p>※「出席」⇒「病気欠席」など、保護者から連絡された後に、修正を行うケースを想定</p> <p>リストから選択できる項目（症状や疾患）について、新たに項目を追加する場合、大幅な改修が必要でしょうか。</p> <p>日本学校保健会の感染症システムとの連携インターフェースは実装されていますでしょうか。</p> <p>連携インターフェースが実装されていない理由は何ですか。</p> <p>今後連携インターフェースを実装する予定はありますか。</p> <p>貴社の製品を導入している学校の総数はどのくらいでしょうか。</p>
可変性	<p>貴社の製品を導入している学校の総数はどのくらいでしょうか。</p>
感染症システムとの連携	<p>ユーザーマニュアル等、共有していただくことは可能でしょうか。</p>
導入実績	
情報共有	

※保護者アプリのみを提供するベンダー様へは別のアンケート項目を想定

# **今後のスケジュール 事務連絡**

## (再掲) 今後のスケジュール

- ✓ 第1回以降、試行運用の開始前、途上及び年度末にチェックポイントとして検討会を開催し、試行運用内容や仕様案の検討状況等に対する意見聴取を行うことを想定しており、年度内で5回開催する予定です。

検討会	開催時期	目的	アジェンダ（予定）	参加者	開催場所
第1回 事業運営検討会	2025/8/7	関係者全員一同に会し、今後の方針、スケジュール等の認識合わせを行う 保育・校務の検討状況を共有	【キックオフ】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全体スケジュールの確認</li><li>・ 実証に向けた検討状況共有 等</li></ul>	全者を想定 (国の機関含む)	
第2回 事業運営検討会	本日 2025/10月頃	保育ICTシステムに係る改修の試行運用を11月から開始するにあたり、検討状況、スケジュール等確認	【個別事項】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ API連携の仕様案・データ標準案の策定にあたっての進捗状況共有</li><li>・ 課題、検討事項について確認</li></ul> 【仕様案ドラフト検討状況の提示】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕様案ドラフトについての内容共有、意見聴取、合意</li></ul>	保育系関係者中心	
第3回 事業運営検討会	次回 2025/12月頃	校務支援システム及び汎用クラウドツール保護者連絡アプリに係る改修の試行運用を1月から開始するにあたり、検討状況、スケジュール等を確認	【実証開始に向けた確認】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実証に向けた検討状況、実証イメージ等の詳細を共有、意見聴取、合意</li></ul>	校務系関係者中心	オンラインを想定
第4回 事業運営検討会	2025/2月初旬	仕様案ドラフト・効果検証についての内容議論、試行運用状況共有	【仕様案ドラフト、効果検証】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕様案ドラフトについての内容提示、意見聴取、合意</li><li>・ 効果検証内容についての内容確認</li><li>・ 試行運用状況の共有、仕様案へ反映すべき事項について確認</li></ul>	保育系、校務系関係者を中心	
第5回 事業運営検討会	2026/3月中旬	仕様案最終版についての内容確認、意見聴取、合意 本事業の全体総括	【仕様案最終版の提示】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕様案最終版についての内容提示、意見聴取、合意</li></ul>	全者を想定 (国の機関含む)	

## 事務連絡

- ✓ 第3回事業運営検討会について、下記候補のとおり開催を予定しておりますので、ご調整いただきよろしくお願ひいたします。
- ✓ 10/6にご案内のメールを送信させていただいておりますのでご確認ください。

### • 第3回事業運営検討会について

- ✓ 12月8日 (月) 15:00～16:00
- ✓ 12月8日 (月) 16:00～17:00
- ✓ 12月9日 (火) 10:00～11:00
- ✓ 12月9日 (火) 11:00～12:00
- ✓ 12月9日 (火) 14:00～15:00
- ✓ 12月11日 (木) 10:00～11:00
- ✓ 12月11日 (木) 11:00～12:00

# *Thank you*



© 2025 PwC Consulting LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.